

平成 28 年度 9 月号 熊谷市立久下小学校	<h1 style="font-size: 2em;">久下小だより</h1> 草青く 水清し 久下小学校 - 私たちはムサシトミヨを守りつづけます -	(9 月の生活目標) 靴のかかとをそろえる
--------------------------------------	---	---------------------------------

有意義な前期後半を過ごしましょう！

いよいよ前期後半が始まりました。39 日間の夏休みを終え、子供たちは少し日に焼けて身体も一回り大きくなったように見えました。

9 月は、夜がだんだん長くなる夜長月 (よるながつき) から、長月 (ながつき) と呼ばれるようになったそうです。この季節は、「灯火親しむべし」と言われるように、暑くもなく寒くもなく、夜、虫の鳴き声を聞きながら静かに読書をすることができます。身体を鍛える絶好のシーズンでもあります。スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、そして、芸術の秋です。子供たちには実りある時間を過ごして欲しいと思います。

さて、本校では前期の締めくくりとして次のような授業を目指します。①基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる授業 ②思考力・判断力・表現力(いわゆる活用する力)が高められる授業 ④友達と切磋琢磨しあえる授業 ⑤運動量が多く体力が向上する授業 ⑥友達への思いやりや優しい心を育むことができる授業等です。ねらいの達成に向けて努力していきましょう。

6年生内田佳吾さん！第32回全国小学校陸上競技交流大会出場 おめでとう！

種目男子100mを13秒1で埼玉県大会予選を突破し、埼玉県代表として全国大会に出場しました。全国大会は8月20日、神奈川県日産スタジアムで行なわれ、当日は好タイムで走ることができました。今後の活躍が楽しみです。



8/30(火)体育館ワックスがけ



先生方全員で、床の汚れを落とし、ワックスがけをしました。汗だくの作業は2時間近くかかり、小さな汚れも落とすことができました。これからもきれいに使っていきましょう。

7/28(木)水泳教室



夏休み中、水泳教室が行われました。正しいバタ足の仕方や腕の動かし方を学び、上手に泳げるようになりました。

7/28(木)校庭の側溝清掃



校庭の側溝に溜まった土砂を取り除き、排水が良くなりました。1年間では結構な量の土砂が流れ込んでいました。業者の方は、重機を使い手際よく作業をしていました。

9 月 行事予定	
1	木 身体測定(低) 避難訓練 児童委員会 6年陸上練習開始
2	金 身体測定(中)
3	土
4	日
5	月 身体測定(高) 教育実習開始(～9/30)
6	火 プラント集会② PTA 運営委員会 13:30～
7	水 特別日課 教育相談希望制 JRC の日 色別活動⑤
8	木 クラブ⑤
9	金 3年社会科校外学習
10	土 熊谷地区科学展(くまびあ)
11	日 久下地区敬老会 熊谷地区科学展(くまびあ)
12	月
13	火 児童集会【飼育栽培】1・2年生活科校外学習 3年理科校外学習
14	水 色別活動⑥
15	木 運動会係打合せ 1・2年生活科校外学習予備日
16	金 体育着販売 13:30 体育館
17	土
18	日 発明創意くふう展(妻沼中央公民館) 太井地区敬老会
19	月 敬老の日
20	火
21	水 木曜日課 7/28 缶回収日 係打合せ
22	木 秋分の日
23	金 運動会前日準備
24	土 運動会(雨天の場合休み)
25	日 運動会予備日①(雨天の場合月曜日課)
26	月 振替休業日(24日又は25日分)
27	火 全校集会 運動会予備日②
28	水 運動会予備日③
29	木 クラブ⑥ 運動会予備日④
30	金 運動会予備日⑤

前期後半 校長講話「リオ五輪選手；バドミントン高橋・松友ペアの意気込みを学ぼう！」

39日間の長い夏休みも終了しました。夏休み中、たくさんの素晴らしい思い出を残したことと思います。校長先生は、皆さんが事故なく、無事に過ごしているか心配でしたが、こうして元気に登校できたことを大変うれしく思います。いよいよ今日から前期の後半が始まります。お休みモードを一新して気分を学校モードに切り替えてください。



ところで、8月5日から21日までの17日間、ブラジルのリオデジャネイロでオリンピックが開催されました。皆さんもテレビを見て応援していたと思います。トータルでは金12個、銀8個、銅メダル21個をとりました。日本選手は、それぞれの種目でたいへん頑張ったと思います。

特に印象に残った場面は、バドミントン女子ダブルスの決勝のシーンでした。高橋礼華（26）、松友美佐紀（24）組は、デンマークの選手（カミラ・リターユヒル、クリスティナ・ペデルセン組）を2-1で下し、バドミントンで日本初の金メダルを獲得しました。試合の一部を映像で見てください。

高橋・松友ペアは、決勝戦の第3セット16対19から大逆転劇を演じました。追い込まれても粘りと根性で頑張り抜いた試合運びでした。

○高橋 礼華選手のコメントは次のようなものでした。

昨日のことは本当に覚えてなくて、どうやって勝ったのだろう、と表彰台に上がっても、実感が無かった。試合後に携帯を見て、たくさんの「おめでとう」というメッセージを見て実感することができました。本当に嬉しい。恩師である田所先生も応援に来てくれていたようで嬉しかった。先生が私たちを組ませてくれていなければ、今ここにいないわけなので、感謝をしたい。

決勝の最後の場面で、逆転ができたのは、「これまで辛い練習を乗り越えてきた。ここでは終われない」という気持ちのおかげ。前日にレスリングの伊調選手の逆転劇を見ていたので、私にもできると思えた。それが勝ちに繋がったのではないかと思う。



世界ランキング1位になってからは、自分たちにプレッシャーをかけてしまっていた。金メダルを取らなければならない、という気負いで世界選手権では自分たちのプレーができなかった。今回のオリンピックでは、自分たちのプレーをすることを考えて出場をしたので、プレッシャーは無かった。

松友選手と組んで10年経つが、10年前はここまで来られるとは思っていなかった。2人で10年間、辛いことも楽しいことも経験してきた。松友選手に感謝したい。

ジュニアの選手たちに、決勝での逆転劇を見せられて、諦めない姿勢の重要性を知ってもらえたと思う。

○松友 美佐紀選手のコメントです。

目標にはしていたが、まさかオリンピックで一番高いところまで勝ち続けられるとは思っていなかった。諦めないで頑張ってきて良かったと思う。恩師の田所先生が私たちを組ませてくれていなければ、今、私はここにいない。先生には感謝の気持ちで一杯。先生は、ブラジルまで応援に来てくれて、試合を見届けてくれて、本当に嬉しかった。

決勝での、あの場面の緊張感、そしてゾクゾク感、試合の本番でなければ味わえない。あの場面でも自分たちの最高のプレーができたのは、4年間2人で頑張ってきたからだと思う。

ロンドン2012大会が終わってから、私たちは少しずつ勝てるようになった。初めて国際大会に出場し始めた頃は、一回戦で負けていた。決勝で対戦したデンマークの選手にも、最初は全く歯が立たなかった。いつか、あの人たちのようになりたい、そして、勝ちたいと思ってきた。その頃のことを考えると、今ここにいるのが夢のよう。目標にしていた各国の選手（デンマーク、中国、韓国、そしてインドネシアのペア）と試合ができることが本当に楽しかった。（その方たちに自分の力をぶつけて恩返しをしたいという思いがあった。）どんな時も、私たちは「世界で勝てるようになりたい」という目標がぶれなかった。これからも強くなりたい、うまくなりたいという思いでやっていきたい。子供たちには、バドミントンを純粋に強くなりたいという気持ちで、楽しみながら続けてほしいと思う。 というものです。

2人のコメントから勝因をあげると、

- 1 恩師への感謝の気持ちを持っていること
- 2 「これまで辛い練習を乗り越えてきた。ここでは終われない」という諦めない姿勢があったこと
- 3 自分たちのプレーをすることを考えて出場をしたこと
- 4 他国の選手に対して自分の力をぶつけて恩返しをしたいという思いがあったこと
- 5 私たちは「世界で勝てるようになりたい」という目標がぶれなかったこと
- 6 これからも強くなりたい、うまくなりたいという思いで練習に取り組んだことなどがあげられると思います。

バドミントンの高橋・松友ペアのコメントでしたが、他の種目の代表選手も、血のにじみ出るような練習を重ねたことと思います。選手の皆さんに拍手を送りたいと思います。

皆さんも、前期後半、自分自身の心と身体の成長のために、先生方の指導を受けながら、目標を立てて頑張っていきましょう。